

「小児内科」第 56 巻（第 1～12 号，増刊号）総目次

2024 年 1 月～2024 年 12 月

（ ）内は号数

〔特 集〕

■小児科医のキャリア・デザイン

～「こども臨床」の魅力を語る

座談会

「こども臨床」の魅力を語る

……………窪田 満（司会）・横田俊一郎
成田雅美・森岡一朗
森崎菜穂・高柳正樹……5(1)

序—小児科医のキャリア・デザインを

考える……………広瀬宏之……25(1)

キャリア・デザインをめぐるあれこれ

小児科医のキャリア・デザインについての

アドバイス……………田原卓浩……27(1)

これからの小児医療とその課題…岡 明……34(1)

海外留学というキャリアパス……田中竜馬……39(1)

キャリア・デザインをめぐるあれこれ

サブスペシャルティの選択の 1 例

総合診療……………島袋林秀……43(1)

集中治療……………植田育也……47(1)

新生児医療の魅力と使命……………和田和子……50(1)

小児神経を選択した経緯とその魅力

—私の場合……………日暮憲道……53(1)

アレルギーを選んだ理由……………小林茂俊……57(1)

循環器……………増谷 聡……60(1)

小児血液・がん疾患の克服を目指して

……………江口真理子……63(1)

キャリア・デザインをめぐるあれこれ

子育てとの両立について

子育てとの両立—病児保育の必要性

……………三沢あき子……67(1)

「家族としてのキャリア」を考える

—海外での子育てへの協力経験から

……………高橋謙造……70(1)

病院やクリニックの魅力を語る

～各論① 大学病院

順天堂大学小児科……………清水俊明……73(1)

地方大学病院小児科の現状とその魅力

……………赤坂真奈美……78(1)

病院やクリニックの魅力を語る

～各論① 小児病院

こども病院のこれから……………中村友彦……81(1)

こども病院での小児科医のキャリア

……………利根川尚也……84(1)

病院やクリニックの魅力を語る

～各論① 総合病院・地域病院

賛育会病院小児科……………小松充孝……87(1)

地方病院小児科の魅力……………青柳勇人……91(1)

病院やクリニックの魅力を語る

～各論① クリニック

開業小児科医の魅力……………田中純子……94(1)

開業小児科医の醍醐味—仲間とともに

グループで開業する……………道下崇史……97(1)

さまざまな活躍の魅力を語る～各論②

乳幼児健診・育児相談・子育て支援

……………秋山千枝子… 100(1)

筑波大学附属小学校校医の 20 年間で

振り返って……………土井庄三郎… 103(1)

保健所・児童相談所・発達支援…星野崇啓… 107(1)

在宅医療の魅力と可能性—小児科医として

のキャリアを振り返って……………大隅朋生… 112(1)

研究の魅力……………深見真紀… 117(1)

グローバル・ヘルス……………江上由里子… 120(1)

WHO などの国際活動……………堀越裕歩… 125(1)

国際学会の楽しみ方……………廣瀬伸一… 128(1)

ケニアの障がい児療育における小児科医の

役割と醍醐味……………公文和子… 131(1)

行政でのこども活動……………遠藤明史… 134(1)

PMDA における活動……………岡本圭祐… 137(1)

製薬企業における活動……………坂口佐知… 142(1)

他職種との協働……………小林潤一郎… 145(1)

【コラム】専門医や博士号の取得について

……………滝田順子… 149(1)

【コラム】小児科から小児外科へ

……………山本浩史… 151(1)

■小児内分泌を楽しく学ぼう

内分泌疾患の多様さと面白さ……………浦上達彦… 165(2)

小児内分泌を楽しく学ぼう

小児内分泌学をいつの間にか学ぶ

.....長谷川奉延...	167(2)
小児内分泌の研究を楽しむために	
.....緒方 勤...	171(2)
一般病院, クリニックでみる小児内分泌	
疾患.....小西和孝...	175(2)
ここまでわかる, 成長曲線を利用した	
健康管理.....伊藤善也...	179(2)
もはや診断に欠かせない遺伝子検査,	
いつ何を行うか?.....鳴海覚志...	185(2)
見逃していませんか? 骨系統疾患診断の	
ポイント.....道上敏美...	189(2)
ここに注目, 新生児の低血糖症...鈴木 滋...	193(2)
ガイドライン, 診断・治療の手引きをどう利用するか?	
成長障害.....佐藤真理...	198(2)
先天性甲状腺機能低下症とバセドウ病	
.....長崎啓祐...	203(2)
性分化疾患のガイドラインに基づく対応と	
考え方.....佐藤 薫・鹿島田健一...	209(2)
21-水酸化酵素欠損症.....田島敏広...	215(2)
骨・カルシウム代謝疾患.....長谷川高誠...	219(2)
小児糖尿病.....松井克之...	223(2)
小児がん経験者 (CCS)	
.....内海孝法・岡田 賢...	228(2)
症例から学ぶ小児内分泌疾患の診かた	
心理・社会的要因と低身長.....水野晴夫...	233(2)
Noonan 症候群の診断と治療.....室谷浩二...	237(2)
Small-for-Gestational Age (SGA) 児と	
Developmental Origins of Health and	
Disease (DOHaD).....森岡一朗...	241(2)
新生児マスキングで見逃される	
先天性甲状腺機能低下症.....安達昌功...	245(2)
あいまいな外性器の診かた.....藤澤泰子...	249(2)
治療不要? 思春期早発症.....濱島 崇...	255(2)
決してまれではないビタミン D 欠乏症	
.....窪田拓生...	259(2)
1 型糖尿病における持続血糖モニタリング	
(CGM) とインスリンポンプの有用性	
.....高谷具純...	262(2)
肥満・やせの治療戦略.....井ノ口美香子...	267(2)
トピックス	
時間内分泌学: 小児肥満診療への応用	
.....川井正信...	271(2)
長時間作用型成長ホルモンの臨床応用	
.....長谷川行洋・酒井祐貴・池側研人...	274(2)
糖尿病患者とステイグマ.....小川洋平...	278(2)
福島県における小児甲状腺がんの状況	
.....横谷 進...	281(2)

■これからの学校医〜いろいろな子ども集団との連携 総論

学校医制度の概要.....衛藤 隆...	301(3)
これからの学校医.....穂吉秀隆...	306(3)
各論 学校医業務の実際	
学校定期健康診断について.....塙 佳生...	311(3)
就学時健診の実際とこれから.....松下 享...	317(3)
学校心臓検診.....渡辺弘司...	321(3)
小児の腎臓病検診—学校検尿 (3 歳児検尿)	
の目的, 成果および問題点.....土屋正己...	325(3)
心の健診.....井口敏之...	331(3)
健診後の事後措置・健康相談.....崎山 弘...	335(3)
学校保健委員会.....弓倉 整...	339(3)
【コラム】小児のヘルスリテラシー向上の	
取り組み.....坂本昌彦...	343(3)
各論 健康教育・いのちの授業	
プレコンセプションケア.....金子佳代子...	347(3)
喫煙防止教育から禁煙教育へ	
.....野田 隆・牟田広実...	351(3)
小児科医が参画する性教育.....谷村 聡...	355(3)
ホスピス・緩和ケア領域から学ぶ	
いのちの授業.....小澤竹俊...	359(3)
学校におけるがん教育.....助友裕子...	365(3)
小学校における「脳死・臓器移植」の授業	
.....佐々木昭弘...	369(3)
BLS (Basic Life Support: 一次救命処置)	
を教える.....鉄原健一...	373(3)
重症心身障害児に関する「いのちの授業」	
.....小沢 浩...	377(3)
各論 アレルギー・生活習慣指導	
学校生活管理指導表 (食物アレルギー欄)	
とエピペン®注射指導.....濱野 翔...	381(3)
学校医が生徒へ睡眠習慣啓発・指導する	
ための必修知識—小児・学童期における	
睡眠の実態とその問題.....福水道郎...	385(3)
宮城県における小児肥満対策マニュアル	
作成の取り組み.....藤原幾磨...	389(3)
メディアとの付き合い方.....宮林麻里...	393(3)
各論 先進的な取り組みの紹介	
コロナ禍およびポストコロナにおける	
学校医の取り組み.....川上一恵...	397(3)
神経発達症の児童とのかかわり方と	
教員への指導法.....三木崇弘...	403(3)
養護教諭からみた学校医の仕事	
.....佐草佐恵子・山本康子...	407(3)
教育委員会との連携.....坂東由紀...	411(3)
医療的ケア児を通常学級が受け入れる場合	

.....窪田 満… 415(3)	冠動脈起始異常.....永田 弾… 548(4)
スクールソーシャルワーカーと学校医の 連携の現状と課題、今後の展望沖田昌紀… 419(3)	先天性大動脈弁・弁上・弁下狭窄症木村正人… 551(4)
各論 その他	純型肺動脈閉鎖症・重症肺動脈弁狭窄症藤井隆成… 555(4)
LGBTQ+坂井雄貴… 423(3)	Ebstein 病馬場健児… 559(4)
学校医ができる「不登校の予防的支援・ 思春期のこころの学校健診」土生川千珠・村上佳津美… 427(3)	Fallot 四徴症—肺動脈閉鎖/心室中隔欠損症 を含めて.....小島拓朗… 563(4)
■完全把握をめざす小児の心疾患	完全大血管転位・修正大血管転位林 知宏… 566(4)
胎児期心疾患の臨床	総肺静脈還流異常症.....石井 卓… 571(4)
胎児診断—胎児心エコーの基本から 不整脈診断, 胎児 MRI を含めて寺町陽三・前野泰樹… 449(4)	総動脈幹遺残症.....林 立申… 575(4)
胎児不整脈に対する胎児治療川崎有希・吉田葉子… 455(4)	三尖弁閉鎖症.....中島公子… 579(4)
胎児心疾患に対する胎児治療.....小澤克典… 459(4)	左心低形成症候群.....金 基成… 582(4)
チーム医療—胎児診断から出生まで益田 瞳… 465(4)	症候群
胎児心疾患のカウンセリング.....河津由紀子… 471(4)	内臓錯位症候群.....満下紀恵… 585(4)
【コラム】胎児心エコーの歴史—わが国での 保険適用への過程.....渋谷和彦… 474(4)	ダウン症候群.....宮本朋幸… 591(4)
先天性心疾患の基本	13 トリソミー症候群岸 勘太… 595(4)
非チアノーゼ性先天性心疾患.....宗内 淳… 475(4)	22q11.2 欠失症候群澤田博文… 599(4)
非チアノーゼ性先天性心疾患田尾克生・石川友一… 481(4)	Marfan 症候群と類縁疾患豊野学朋… 602(4)
遺伝性先天性心疾患.....古道一樹… 486(4)	RAS/MAPK 症候群前田 潤… 607(4)
心エコーの基本—区分診断法から 最新の話まで.....田中 登・高橋 健… 491(4)	Williams 症候群伊藤怜司… 613(4)
心臓カテーテル法の基本.....星野健司… 497(4)	Turner 症候群馬場志郎… 617(4)
外科治療の基本.....立石 実… 503(4)	【コラム】小児循環器分野の教育 —教育プログラムの紹介.....金 成海… 621(4)
PICU 管理—周術期管理の基本 (利尿薬, 血管作動薬, 強心薬の使い方を含めて)海老島宏典… 511(4)	不整脈
日常生活の注意点と外来フォローの tips and tricks安田和志… 516(4)	心電図の読影の基本.....立野 滋… 623(4)
社会保障 (小児慢性特定疾病など)廣野恵一… 521(4)	上室・心室期外収縮.....福永英生… 631(4)
【コラム】日本におけるパルスオキシ メータを使用した重症先天性心疾患の スクリーニング.....与田仁志・増本健一… 525(4)	上室頻拍・心房粗動・心房細動 —WPW 症候群を含めて加藤愛章… 634(4)
先天性心疾患 (各論)	心室頻拍・心室細動—QT 延長症候群や Brugada 症候群などの遺伝性不整脈を 含めて.....藤田修平… 639(4)
心房中隔欠損症.....阿部忠朗… 527(4)	徐脈性不整脈.....吉田葉子… 643(4)
房室中隔欠損症.....北川篤史・平田陽一郎… 531(4)	不整脈非薬物治療.....倉岡彩子… 647(4)
心室中隔欠損症.....加藤温子… 535(4)	【コラム】学校心臓検診岩本真理… 651(4)
動脈管開存症.....東 浩二… 539(4)	後天性心疾患
大動脈縮窄症・大動脈離断症.....武井黄太… 543(4)	急性心筋炎—COVID-19 ワクチン 関連心筋炎を含めて.....浦田 晋… 653(4)
	小児の心筋症.....武田充人… 657(4)
	感染性心内膜炎.....土橋隆俊… 661(4)
	肺高血圧症.....永井礼子… 667(4)
	乳児特発性僧帽弁腱索断裂渡邊康大・麻生健太郎… 671(4)
	川崎病 (心臓血管後遺症)中川直美… 675(4)
	血管炎症候群—高安動脈炎・ANCA 関連血管炎など.....齋木宏文・遠藤幹也… 678(4)

重症心不全治療—薬物療法, 機械的補助 循環から社会保障を含めて……石田秀和… 683(4)	企業・製品の事故予防の取り組み 抱っこひも—製品安全への取り組み ……………布施真行… 825(5)
【コラム】日本における小児心臓移植の 課題……………小垣滋豊… 689(4)	家庭用室内ブラインドのコードの安全性 —ブラインド等の紐の安全対策に 関する, これまでの取り組みについて ……………日本ブラインド工業会… 828(5)
成人先天性心疾患 成人先天性心疾患の特徴……………相馬 桂… 691(4)	行政・業界団体の取り組み こどもの事故防止に向けた消費者庁の 取り組み……………尾崎裕子・金子拓矢 中尾友哉・岩本祐子… 833(5)
成人先天性心疾患に対する検査法と その概説……………小坂橋俊美… 697(4)	NITEにおける乳幼児事故防止のための 取り組み……………三浦範大・武井康之 宇野晋平… 839(5)
成人先天性心疾患に特徴的な治療 —カテーテル治療を含めて……佐地真育… 701(4)	公園施設製品(遊具)の安全への取り組み ……………栗谷菊夫… 844(5)
成人先天性心疾患の心不全に対する薬物療法 —新規心不全治療薬を含めて ……………高砂聡志・椎名由美… 705(4)	都市公園における遊具の安全確保に関する 取り組み……………尾崎 孝… 849(5)
成人先天性心疾患の妊娠・出産…兵藤博信… 709(4)	【コラム】日本小児科学会雑誌 「Injury Alert」欄から予防につなげる ……………山中龍宏… 854(5)
トランジションを含めた外来フォローの tips and tricks と社会生活 ……高田秀実… 715(4)	事故予防の研究 AIを活用した子どもの傷害予防のための Equity 実現 ……大野美喜子 … タス スリニヴァサン シリーシ バブ 西田佳史・北村光司… 856(5)
成人先天性心疾患のチーム医療 ……………島田衣里子… 719(4)	家の中のアフォーダンスの可視化—ARを 用いた乳幼児期の事故予防システム ……………西崎実穂… 861(5)
■小児の事故と予防	行動科学と事故(傷害)予防……………坂本昌彦… 865(5)
事故の現状と予防対策	■小児の渡航医学
窒息・誤嚥……………大平智子… 741(5)	総論
溺水事故の現状と予防策……………笹岡悠太… 746(5)	安全な渡航のための計画と準備……………福島慎二… 891(6)
高所からの墜落……………竹井寛和… 751(5)	海外渡航者に多い疾患……………水野泰孝… 897(6)
やけど……………安田真人… 756(5)	トラベラーズワクチン……………氏家無限… 902(6)
自転車関連事故—子どもの事故パターンと 対策……………岸部 峻… 761(5)	【コラム】海外と日本で接種スケジュール の異なるワクチン……………元田玲奈… 908(6)
中毒・薬物誤飲……………伊藤友理枝… 769(5)	各論 渡航前の相談
熱中症……………田中大貴… 775(5)	時差ぼけ/乗り物酔い対策 ……田中敏博… 910(6)
【コラム】水筒による腹部外傷 ……田原卓浩… 781(5)	現地の友人・親族を訪ねる—Visiting Friends & Relatives (VFR) travel ……………後藤憲志… 915(6)
事故データ	防蚊対策……………中野沙季… 919(6)
不慮の事故による子どもの死亡の変遷 —人口動態統計から……………植松悟子… 783(5)	渡航前の狂犬病予防相談……………村中絵美里… 923(6)
子どもの交通事故分析 ……………田久保宣晃・菱川豊裕… 787(5)	渡航中のメンタルヘルス……………勝田吉彰… 928(6)
学校等の管理下における事故の現状と課題 独立行政法人日本スポーツ振興センター… 795(5)	医薬品携行時に必要な準備……………藤澤宗央… 932(6)
現場での事故予防の取り組み	国内外を問わず“越境”する人々の健康を
医療施設での取り組み……………島袋林秀… 799(5)	
幼稚園・保育園……………草川 功・渡辺浩志… 803(5)	
学校における事故の傾向とその予防, 学校医の役割……………川上一恵… 809(5)	
スポーツ関連の事故とその予防対策 —アスレティックトレーナーの観点から ……………松永悠希・廣重陽介… 813(5)	
乳幼児健診……………種市尋宙… 819(5)	
【コラム】事故(傷害)に隠れた子ども 虐待を見逃さないために……………井上信明… 823(5)	

守るために周知すべき情報……三島伸介…	935(6)
渡航者に渡す診療情報提供書の書き方	
……………田村謙太郎…	940(6)
【コラム】BCG接種をした子どもの渡航に	
ついて……………菊池 均…	947(6)
各論 渡航関連感染症	
渡航関連感染症総論……………中野貴司…	949(6)
旅行者下痢症……………山元 佳…	955(6)
蚊媒介感染症(デング熱, チクングニア熱,	
ジカウイルス感染症)……………水野真介…	960(6)
マラリア……………中村(内山) ふくみ…	965(6)
帰国者に対する感染対策……………堀越裕歩…	971(6)
【コラム】海外に長期滞在する日本人小児	
が直面する困難……………田中孝明…	975(6)
各論 基礎疾患をもつ子どもたちの渡航	
呼吸器疾患をもつ子ども	
……………西間大祐・手塚純一郎…	978(6)
循環器疾患をもつ子ども……………石戸美妃子…	983(6)
アレルギー疾患をもつ子どもの渡航	
……………杉浦至郎…	987(6)
神経疾患をもつ子どもーてんかんを中心に	
……………藤井克則…	992(6)
神経発達症をもつ子ども	
……………宮崎健祐・小島永士・藤田凌輔…	996(6)
内分泌疾患をもつ子どもー海外渡航に	
おけるインスリンと成長ホルモン使用上	
の注意点……………青木政子・浦上達彦…	1000(6)
代謝疾患をもつ子ども	
……………松本志郎・中村公俊…	1005(6)
免疫疾患をもつ子ども	
……………多田歩未・井上健斗・金兼弘和…	1008(6)
【コラム】乳児の旅客機搭乗における注意	
事項……………島袋林秀…	1013(6)
■酸塩基平衡異常ー基本と管理	
総論	
血液ガスをどんなときに測定するか?	
……………遠藤 周…	1029(7)
血液ガスの読み方……………藤丸拓也…	1032(7)
【コラム】細胞内と細胞外のpHは同じ?	
……………田中征治・新居見真吾…	1038(7)
総論 酸塩基平衡の調節機構	
H ⁺ バランスと緩衝系	
……………白井陽子・三浦健一郎・服部元史…	1041(7)
【コラム】pHはなぜ7.4なのか?	
……………三浦健一郎…	1044(7)
腎臓でのHCO ₃ ⁻ 再吸収とH ⁺ 分泌	
……………寺野千香子…	1045(7)

総論 酸塩基平衡異常ー診断へのアプローチ	
代謝性アシドーシスー診断へのアプローチ	
……………藤丸季可…	1049(7)
【コラム】Na-Cl=36って便利!?	
……………熊谷直憲…	1053(7)
代謝性アルカローシスー診断への	
アプローチ……………菅原典子…	1055(7)
呼吸性アシドーシス, 呼吸性アルカロー	
シスー診断へのアプローチ……………伴 英樹…	1061(7)
各論 代謝性アシドーシスの病態と治療	
ショック, 敗血症…相賀咲太郎・川崎達也…	1065(7)
副腎不全……………佐野伸一郎…	1070(7)
乳酸アシドーシス……………内野俊平…	1075(7)
下痢症……………松村英樹…	1081(7)
糖尿病性ケトアシドーシス……………高谷具純…	1085(7)
近位尿管性アシドーシスーFanconi	
症候群を含めて……………櫻谷浩志…	1091(7)
遠位尿管性アシドーシス……………梶保祐子…	1095(7)
偽性低アルドステロン症1型……………奥田雄介…	1099(7)
有機酸代謝異常症……………高野智圭・石毛美夏…	1103(7)
薬剤による代謝性アシドーシス……………南川将吾…	1108(7)
急性腎障害……………石原正行…	1112(7)
慢性腎臓病……………原田涼子・濱田 陸…	1116(7)
各論 代謝性アルカローシスの病態と治療	
肥厚性幽門狭窄症……………木村有希…	1120(7)
Bartter 症候群, Gitelman 症候群ー偽性	
Gitelman 症候群を含めて……………野津寛大…	1126(7)
腎血管性高血圧……………吉澤志保・平野大志…	1131(7)
利尿薬……………金 基成…	1135(7)
■小児科医が知っておくべき子どもの眠り	
序ーなぜ小児科医は「眠り」に目を向ける	
必要があるのか?……………谷池雅子…	1157(8)
総論 子どもの眠りの基礎知識	
睡眠と生体リズムの構造・発達・	
メカニズム……………天藤七海・糸 和彦…	1161(8)
適切な眠りとは何か? 不適切な眠りの	
デメリットとは?……………駒田陽子…	1167(8)
子どもの睡眠リズムとそれを取りまく	
食環境の問題点……………柴田重信・古谷彰子…	1173(8)
総論 子どもの眠りに関する問題, 教育, 治療総論	
乳幼児期の睡眠プライマリケア……………毛利育子…	1179(8)
児童生徒に共通する睡眠問題とその支援策	
としての睡眠教育プログラム……………田村典久…	1185(8)
子どもの眠りに影響する薬剤ーOTC薬を	
含めて……………加藤秀一・大野由佳・高橋長秀…	1191(8)
子どもの眠りの評価ー問診編……………石井隆大…	1197(8)
子どもの眠りの評価ー検査編……………藤野葉子…	1201(8)

睡眠衛生指導の基本と改善にいたる	
実際の指導内容……………	神山 潤…1209(8)
子どもの睡眠問題に対する非薬物療法	
一行動的睡眠介入を中心に……………	綾部直子…1214(8)
「眠れない」への薬物治療	
……………	兵頭沙梨・細川里瑛・堀内史枝…1219(8)
【コラム】「寝ない」は親からの SOS	
……………	清水悦子…1225(8)
各論 子どもによくみられる睡眠関連疾患と	
その対応	
不眠症……………	岩垂喜貴…1229(8)
睡眠時呼吸障害—閉塞性睡眠時無呼吸,	
中枢性睡眠時無呼吸……………	加藤久美…1232(8)
中枢性過眠症—睡眠不足症候群,	
ナルコレプシー, 特発性過眠症,	
クライネーレビン症候群など	
……………	千葉 滋・神林 崇…1237(8)
小児の概日リズム睡眠・覚醒障害群	
—考え方と加療について……………	福水道郎…1243(8)
睡眠時随伴症……………	茂木太一・井上雄一…1249(8)
睡眠関連運動障害……………	村松一洋…1255(8)
【コラム】「朝起きられない」を治療し	
子どもの未来を守る一起立性調節障害へ	
睡眠医療からの支援……………	神林 崇
千葉 滋・岩渕恵美・大久保達明	
上月ゆり子・白井謙太郎…1259(8)	
各論 基礎疾患と睡眠障害	
神経発達症と睡眠障害……………	菊池 清…1261(8)
てんかんと睡眠障害……………	加賀佳美…1267(8)
アレルギー疾患と睡眠障害……………	小林茂俊…1271(8)
先天異常症候群・染色体異常症の睡眠障害	
……………	岡本伸彦…1275(8)
早産児・低出生体重児と睡眠障害	
……………	兼次洋介・安積陽子・三谷裕介
水島正人・中川真智子・大石芳久	
安達裕行・新井浩和・池田尊司	
吉村優子・菊知 充・長 和俊	
太田英伸…1279(8)	
■思春期医療に向き合う～苦手意識からの脱却	
序—思春期医療の醍醐味……………	田中大介…1305(9)
総論 思春期の特性と必要な配慮	
思春期の身体的特性……………	鹿島田健一…1307(9)
思春期の心の特性……………	作田亮一…1313(9)
思春期診療の現状と思春期健診—思春期	
健診マニュアル, ヘルスプロモーション	
……………	永光信一郎…1318(9)
思春期心性とトラウマを理解した	
移行期医療……………	田中恭子…1324(9)
【コラム】10代の「知りたい」にこたえる	
情報サイト TEENS BASE ……………	阪下和美…1329(9)
各論 健康問題	
思春期の発育をサポートする—栄養・	
食生活・肥満・貧血……………	前山隆智…1331(9)
スポーツ障害……………	鳥居 俊…1335(9)
子どもたちのおしゃれによる皮膚	
トラブル—低年齢化, 過剰化が問題	
……………	岡村理栄子…1339(9)
各論 疾患	
やせをきたす摂食障害・過敏性腸症候群	
(心身症)……………	岡田あゆみ…1345(9)
起立性調節障害……………	田中英高…1354(9)
頭痛—片頭痛と慢性緊張型頭痛…	藤田光江…1358(9)
身体化された症状 [身体症状症, 機能的	
神経学的症状症 (変換症), 解離症群]	
への対応……………	柳生一自…1363(9)
睡眠障害……………	石橋孝勇・高江洲義和…1368(9)
不登校……………	中山明子…1374(9)
問題のあるインターネット使用,	
ゲーム障害……………	石塚一枝…1379(9)
AYA 世代のがん ……………	宮村能子…1382(9)
各論 性に関する問題	
性別不合……………	中塚幹也…1387(9)
思春期早発症・遅発症……………	佐藤詩子…1391(9)
妊娠と避妊—プレコンセプションケアを	
含めて……………	谷垣伸治・小林千絵
阪口響子・小林陽一…1395(9)	
思春期の婦人科疾患…	伊藤路奈・春名佑美
山本泰弘・玉城英子・安藤 索…1401(9)	
思春期の泌尿器科疾患 (男性)	
……………	多武保光宏…1405(9)
各論 社会的問題	
薬物使用—市販薬の過量服薬	
(オーバードーズ)……………	嶋根卓也…1409(9)
小児期逆境体験に小児科医がどう	
向きあうか……………	山崎知克・岩崎美奈子…1413(9)
自殺……………	衛藤暢明…1419(9)
貧困, ヤングケアラー……………	森田久美子…1423(9)
■呼吸管理—病態把握と緊急介入に	
必要な知識と技術—	
序—企画にあたって……………	井手健太郎…1441(10)
呼吸の異常へのアプローチ	
呼吸の異常の評価と重症度判定…	伊原崇晃…1442(10)
上気道狭窄の評価と対応……………	伊東幸恵…1447(10)
下気道狭窄の評価と対応……………	木村 翔…1450(10)

肺実質障害の評価と対応……………鉄原健一…1454(10)	人工呼吸管理中のトラブルシューティング
呼吸調節障害の評価と対応	—DOPEを中心に…磯谷肇男・池山貴也…1575(10)
……………早野駿佑・谷 昌憲…1459(10)	人工呼吸器からの離脱と抜管後の管理
呼吸管理に必要な検査	……………制野勇介…1578(10)
画像検査（胸部単純X線，胸部CT，	在宅人工呼吸器の特徴—小児を中心に
肺超音波検査）……………星野雄介…1465(10)	……………戸谷 剛…1582(10)
内視鏡検査（喉頭・気管・気管支鏡検査）	■いまさら聞けない成長のキホン
……………長谷川久弥…1468(10)	総論
微生物検査（抗原検査，喀痰培養，	小児における成長の基本……………田中敏章…1597(11)
網羅的遺伝子検査）…水野真介・笠井正志…1473(10)	器官別の成長・発育—Scammonの
血液ガス検査と呼吸モニタリング（パルス	発育発達曲線を含めて
オキシメトリー，カプノグラフィー）	……………服部花穂・長谷川行洋…1605(11)
……………上村克徳…1478(10)	栄養と成長……………川井正信…1611(11)
気道の管理	骨の成長・成熟と骨年齢……………安藏 慎…1617(11)
気道吸引：口腔内，鼻腔内，気管内	成長をミエル化する「成長曲線」のキホン
……………岡田 広…1483(10)	……………伊藤善也…1621(11)
バグマスク換気……………荻原重俊…1487(10)	胎児発育評価の基本的考え方…篠塚憲男…1626(11)
気管挿管の適応と手技	一次施設（クリニック）における成長評価
……………一柳彰吾・青木智史…1491(10)	……………村下真理…1631(11)
気管チューブの選択と管理……………松岡若利…1495(10)	専門施設における成長障害の鑑別診断
挿管困難時の対応—DAM アルゴリズム，	……………伊藤純子…1638(11)
ビデオ喉頭鏡……………佐藤光則…1499(10)	【コラム】睡眠不足や筋力トレーニングは
呼吸理学療法—機器を用いた排痰法を	成長障害の原因となるのか？
含めて……………峯 耕太郎・上出杏里…1503(10)	……………中村千鶴子・長崎啓祐…1644(11)
緊急気道確保の適応と手技……………青木一憲…1509(10)	各論 鑑別すべき疾患
カニューレの選択と管理……………諸岡進太郎…1513(10)	成長障害をきたす内分泌疾患
非侵襲的な呼吸管理	……………永原敬子・安達昌功…1645(11)
酸素療法と加温加湿……………賀来典之…1517(10)	成長障害をきたす遺伝子異常
薬物吸入療法……………太田英仁…1521(10)	……………池田麻衣子・緒方 勤…1654(11)
高流量鼻カニュー酸素療法……………庄野健太…1526(10)	骨系統疾患—軟骨無形成症・軟骨低形成症，
非侵襲的陽圧換気療法……………京極 都…1529(10)	低ホスファターゼ症，骨形成不全症に
侵襲的な呼吸管理	ついて……………窪田拓生…1662(11)
人工呼吸モードと初期設定	成長障害をきたす代謝性骨疾患：くる病
……………佐藤早苗・川崎達也…1533(10)	……………長谷川高誠…1667(11)
人工呼吸器の設定調節と非同調への対応	過成長をきたす疾患—思春期早発症，成長
……………竹澤芳樹…1537(10)	ホルモン産生腫瘍，Klinefelter 症候群，
人工呼吸中の鎮痛・鎮静と筋弛緩	Marfan 症候群など ………………高橋郁子…1671(11)
……………先瀨 大…1543(10)	肥満をきたす疾患（原発性肥満と
人工呼吸患者の搬送（施設内および	二次性肥満）……………山本幸代…1675(11)
施設間）……………野澤正寛…1549(10)	【コラム】骨系統疾患の早期診断のための
腹臥位療法（生理学的効果，実際の手法，	体格指数の開発……………森岡一朗・青木亮二…1681(11)
注意点）……………岸本健寛・新津健裕…1554(10)	各論 成長をめぐる諸問題
高規格人工呼吸器でできること…壺井伯彦…1559(10)	成長ホルモン治療の進歩と問題点
呼吸 ECMO の適応と実施	……………松井克之…1683(11)
……………佐野海斗・笠木実央子…1566(10)	低出生体重児の増加と成人身長の下
人工呼吸器関連肺炎の予防と治療	—DOHaD の観点から ………………中野有也
……………伊藤雄介…1571(10)	白井まどか・村川哲郎・城所励太…1689(11)

早期 adiposity rebound に着目した小児肥満 予防—早期 adiposity rebound と将来の 心血管疾患発症のリスク……小山さとみ…1693(11)	家庭環境・ストレスと成長障害……菅原大輔…1698(11)
慢性腎臓病と成長障害 ……………石塚喜世伸・三浦健一郎…1701(11)	重症心身障害児の成長評価……永江彰子…1705(11)
【コラム】低出生体重児の発育曲線 (「医療機関退院後の低出生体重児の身体 発育曲線 (2022 年)」) について作成の 経緯とコンセプト……………盛一享徳…1710(11)	
■ここまで来た！ 新生児マススクリーニングと 対象疾患の治療	
総論	
新生児マススクリーニングの歴史と現状, 制度上の課題について……………大浦敏博…1729(12)	
新規疾患スクリーニングの社会実装に 向けた行政研究の取り組みについて ……………但馬 剛…1735(12)	
「正常値」は存在しない—カットオフ値 設定と精度管理……………花井潤師…1741(12)	
新生児マススクリーニングの検査法—もはや ガスリー法ではない タンデムマスを用いたアミノ酸, アシルカルニチン分析……………磯部充久…1747(12)	
ガラクトースの測定法とカットオフ値の 問題……………渡辺和宏・石毛信之…1752(12)	
TSH と FT4 の検査法 ……………毛利光希…1757(12)	
17OHP の検査法とタンデムマスによる ステロイド分析……………山岸卓弥…1761(12)	
PCR 法を用いたスクリーニング…山田幸子…1766(12)	
以前からの対象疾患—再検査, 精密検査, そして治療 アミノ酸代謝異常症, 尿素サイクル異常症 ……………安田泰明・中島葉子…1771(12)	
有機酸代謝異常症…池谷紀衣子・坊 亮輔…1777(12)	
脂肪酸代謝異常症・カルニチン回路異常症 ……………杉山洋平・村山 圭…1782(12)	
ガラクトース血症……齋藤寧子・和田陽一 市野井那津子…1789(12)	
先天性甲状腺機能低下症……………高橋郁子…1793(12)	
先天性副腎過形成症 ……………折本竜太・鹿島田健一…1797(12)	
新しい対象疾患—再検査, 精密検査, そして治療 脊髄性筋萎縮症 (SMA) ……………木水友一…1803(12)	
重症複合免疫不全症 (SCID), B 細胞欠損 症 (BCD) ……………今井耕輔…1808(12)	

ライソゾーム病とペルオキシソーム病 ……………澤田貴彰・中村公俊…1815(12)	
先天性サイトメガロウイルス感染症 ……………森岡一朗…1820(12)	
これから対象となる可能性のある疾患 先天性胆汁酸代謝異常症 ……………鈴木光幸・武井 一・入戸野 博…1825(12)	
オルニチントランスカルバミラーゼ (OTC) 欠損症 ……………小林弘典…1831(12)	
脳クレアチン欠乏症候群……………和田敬仁…1835(12)	
プロテオーム解析による新生児スクリー ニング: 到達点と今後の課題…小原 収…1840(12)	
先天代謝異常症の最新治療 ポリエチレングリコール (PEG) 化した 酵素による治療—フェニルケトン尿症の 最新治療……………西田ひかる・大石公彦…1844(12)	
血液脳関門を克服した酵素補充療法 ……………小須賀基通…1848(12)	
造血細胞移植の進歩……………坂口大俊…1852(12)	
新生児期発症の先天代謝異常症に対する 肝移植…水田耕一・納屋 樹・井原欣幸…1857(12)	
遺伝子治療, 遺伝子編集の進歩…小林博司…1863(12)	

〔連 載〕

■研修医のためのクリニカルクイズ

[第 240 回] 症例: 1 歳 0 か月 男児, 主訴: 左陰嚢腫大…禪正和真・田坂佳資 赤池洋人… 161(2)	
[第 241 回] 症例: 生後 2 か月 男児, 主訴: 嘔吐, 体重増加不良……平出智裕 小池大輔・秋好瑞希 羽根田泰宏・金井理恵… 889(6)	

〔その他〕

■症例

両側腓腹部痛を契機に診断にいたった遺伝 性痙性対麻痺の孤発例……………山井卓磨 永井 章・窪田 満・石黒 精… 285(2)	
左側臥位により速やかに症状が軽快した Chilaiditi 症候群 ……………山下 匠… 290(2)	
重度的好中球減少症を伴った突発性発疹の 1 歳男児例 ……………友岡 俊・水野裕介・高橋吾郎 飯塚康大・木島俊英・丸山篤志 森澤和美・水野風音・高橋 努… 431(3)	
日齢 8 で発症した IgE 依存性牛乳 アレルギー……………松本 怜・藤多 慧	

高見 遙・尾形 仁・樋渡りか 三輪沙織・保科宙生・大石公彦 田知本 寛…	435(3)
COVID-19 流行下の受診控えにより相対的 亜鉛過剰による銅欠乏性貧血をきたした 医療的ケア児の1例……………宗近瑞希 八ッ賀秀一・林 仁美・佐々木聡子 女川裕馬・笹岡大記・永光信一郎…	723(4)
腹膜刺激症状を伴う腹痛を呈した腸骨 骨髓炎の10歳男児……………富岡 翠 玉貫啓太・小野 真 畠井芳穂・神山 潤…	727(4)
腎芽腫自然破裂の小児例に対する経カテー テル的動脈塞栓術…前田昂大・梶島丈雄 名和智裕・澤田まどか 高室基樹・津川 毅…	871(5)
近隣地域で発生した同一 polymerase chain reaction-based open reading frame typing (POT) 型による市中感染型 methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> 感染症の小児例……………増田景子・黒川麻里 安部朋子・李 守永…	875(5)
著明な低ナトリウム血症を呈し、既往歴と 全身状態から二次性偽性低アルドステロ ン症を疑った乳児例……………島 裕子 西崎淑美・内藤朋巳・岩丸良子 澁谷聖月・萩尾真理・井上久美子 佐藤大祐・松村成一・福嶋 恵 藤永周一郎・大山昇一…	1015(6)
ヒトメタニューモウイルスとA群連鎖球菌 の重複感染による重症クループ症候群 ……………白井新治・平野 雅・安藤健一 白子隆志・阪田耕治・川尻美和 山岸篤至…	1138(7)
動物の飼育が家族関係の改善に関与した 神経性やせ症の2例……………宇田川美野子…	1143(7)
溶連菌感染後反応性関節炎の経過中に 若年性特発性関節炎の診断にいたった 1例……………林 美帆・田中瑞恵・七野浩之 堀米顕久・瓜生英子・山中純子 五石圭司・川邊智宏・宮前多佳子 望月慎史…	1287(8)
軽度の血球減少を伴う耳下腺腫脹から急性 リンパ性白血病の診断にいたった小児例 ……………高崎 晃・桃井貴裕・入江紗瑛子 秦 美能理・三山智史・高橋千恵 小島あきら・越野由紀・古谷憲孝	

三谷友一・康 勝好・西本 創…	1293(8)
1型糖尿病に潰瘍性大腸炎を合併した1例 ……………植村菜摘・徳原大介・柚山賀彦 堀田優子・川村智行・濱崎考史…	1427(9)
乳児期早期に <i>STAT3</i> 遺伝子変異による 高 IgE 症候群と診断した1例 ……………杉浦美樹・河合朋樹・小野康弘 増本佳泰・米田堅佑・松田慎平 渡邊健一郎・目黒敬章…	1712(11)
家族内検索にて発見され、肝機能障害に 対して酢酸亜鉛が奏効した Wilson 病の 1例……………西原明子・服部美来・窪田幸世 那須野聖人・渡邊美砂・清水教一…	1717(11)
複数の抗ヒスタミン薬で蕁麻疹が誘発 された小児例……………窪田幸世・笹本光紀 中村浩章・渡邊美砂…	1869(12)
皮膚生検が菊池病の診断に有用であった 14歳女児の1例…石若久海子・堀井百祐 中村英記・平野至規・室野晃一 松本 洸・大石泰史・山本明美…	1875(12)

■書評

監修：広瀬宏之（横須賀市療育相談センター 所長）「発達障害グレーゾーンの子の育て 方がわかる本」……………評 島袋林秀…	26(1)
監修：甲斐純夫，加賀谷 肇，佐藤 透， 編集代表：田中文字「実践 小児薬用量 ガイド 第4版」……………評 島袋林秀…	918(6)
発行：山口県小児科医会「神経発達症への トビラ」……………評 島袋林秀…	1373(9)

増刊号 小児臨床検査 2024

序……………小林茂俊…	9
I. 尿一般検査	
1. 尿量，尿 pH，尿比重，尿浸透圧， 尿潜血，尿蛋白，尿沈渣 ……………藤永周一郎…	12
2. 尿蛋白/Cr 比，尿中微量アルブミン， 尿中 β_2 ミクログロブリン，尿中 α_1 ミクログロブリン，尿中 N-アセチ ル- β -D-グルコサミニダーゼ，尿中 アミノ酸……………濱田 陸 岡本正二郎・幡谷浩史…	17
3. 尿糖，尿ケトン体，尿ビリルビン， 尿ウロビリノーゲン……………梶保祐子…	23
4. 尿電解質，尿酸，FENa，FEUA， FEUN，FEMg，FEHCO ₃ ⁻ ，%TRP ……………山田昌由…	27

5. 尿亜硝酸塩, 白血球反応, 尿中細菌の 培養・定量……………喜瀬智郎……………31	6) フィブリノゲン, フィブリン-フィブ リノゲン分解産物, フィブリン分解 産物Dダイマー, 可溶性フィブリン モノマー複合体, プロトロンビンフ ラグメントF ₁₊₂ , トロンビン・アン チトロンビン複合体……………長江千愛…………… 106
6. クエン酸, シュウ酸, 尿酸, カルシウム, シスチン…山村なつみ……………33	7) ADAMTS13 活性, ADAMTS13 インヒビター…久保政之・松本雅則…………… 112
II. 便検査	8) 抗血小板第4因子-ヘパリン複合体 抗体, 血小板第4因子 ……………安本篤史…………… 115
1. 病原体検査-ウイルス, 細菌, 原虫, 寄生虫……………佐藤真教・細井賢二……………38	9) アンチトロンビン, プロテインC, プロテインS, トロンボモジュリン …江上直樹・堀田多恵子・大賀正一…………… 118
2. 便潜血検査, 便中カルプロテクチン 検査……………清水泰岳……………42	10) プラスミノゲン, プラスミンイン ヒビター, プラスミン-PI 複合体, 組織プラスミノゲンアクチベータ, プラスミノゲンアクチベータイン ヒビター1, t-PA-PAI-1 複合体 ……………川口千晴…………… 123
3. 消化吸収検査-便中脂肪, 便中還元糖 ……………西澤拓哉……………45	V. 髄液一般検査
4. 便中 α_1 アンチトリプシン……………神保圭佑……………48	1. 細胞数, 細胞の種類, 蛋白, 糖, クロール……………青天目 信…………… 130
5. 便粘液中好酸球検査……………山田佳之 市之宮健二・清水真理子……………50	2. 免疫グロブリン, オリゴクローナル バンド, ミエリン塩基性蛋白, 神経特異エノラーゼ, サイトカイン, 神経自己抗体(AQP4, MOG, NMDA 他)…松田慎平・佐久間 啓…………… 134
III. 血液一般検査	3. 乳酸, ピルビン酸, LDH・LDH アイ ソザイム……………小坂 仁…………… 138
1. 赤血球検査	4. 髄液ウイルス検査(抗体価, PCR, フィルムアレイ) ……吉良龍太郎…………… 140
1) 貧血を疑うときの検査の進め方 ……………柴 徳生……………54	5. 代謝物質(モノアミン, プテリジン 他) ……秋山倫之…………… 143
2) 赤血球数, ヘモグロビン, ヘマト クリット, 赤血球恒数, 赤血球の 形態, 網状赤血球……………坂下一夫……………60	VI. 胸水検査
3) ヘモグロビン分画, ヘモグロビン 異常症……………山城安啓……………64	1. 胸水検査-外観, 蛋白, LDH, 糖, トリグリセライド, アデノシンデア ミナーゼ, 細胞数, 細胞分画, 細胞診……………尾崎桂子…………… 148
4) 赤血球浸透圧脆弱性試験, 自己溶血 試験……………菅野 仁・小倉浩美……………68	VII. 血液生化学検査
2. 白血球検査-白血球数, 分画, 形態 異常……………溝口洋子……………71	1. 酵素および関連物質
3. 血小板検査-血小板数, 血小板形態, 血小板容積……………森 麻希子……………76	1) アミラーゼ, リパーゼ, トリプシン ……………平井沙依子・鈴木光幸…………… 152
4. 骨髓検査-骨髓穿刺・骨髓生検, 有核細胞数, 骨髓像, 特殊染色, 骨髓細胞の染色体検査, コロニー 形成能……………濱 麻人……………79	2) AST (GOT), ALT (GPT), γ -GTP (GGT), LAP, Ch-E ……近藤宏樹…………… 156
IV. 血液凝固・線溶系検査	3) ALP・ALPアイソザイム(酸ホス ファターゼ), LDH・LDH アイソ
1. 血液凝固・線溶・抗凝固検査	
1) 出血傾向を示し, 凝固線溶異常を疑う ときの検査の進め方……………石黒 精……………84	
2) 血小板機能検査……………國島伸治……………89	
3) プロトロンビン時間(PT), 活性 化部分トロンボプラスチン時間 (aPTT), PIVKA-II ……井口晶裕……………93	
4) 第VIII因子, 第IX因子, von Willebrand 因子, その他の凝固因子 ……………武山雅博……………96	
5) クロスマキシングテスト, ループス アンチコアグラント, 第VIII因子イン ヒビター……………矢田弘史・野上恵嗣…………… 100	

ザイム……………吉田正司……………	162	VIII. 腎・尿路系検査	
4) CK, CK アイソザイム, アルドラーゼ…木原祐希・石垣景子……………	166	1. 糸球体機能検査：クレアチニン, シスタチン C, β_2 ミクログロブリン, クレアチニークリアランス, イヌ リンクリアランス, eGFR 計算式 ……………池住洋平……………	250
2. 蛋白, 膠質反応および関連物質		2. 尿細管機能検査	
1) 総蛋白, アルブミン, グロブリン, A/G 比, 蛋白分画 ……東 良紘……………	171	1) 近位尿細管機能検査—尿細管リン 再吸収閾値, 重炭酸イオン負荷試験, 尿中アミノ酸……………岡本孝之……………	254
2) ハプトグロビン, α -フェトプロテイン, α_1 アンチトリプシン ……市本景子……………	176	2) 遠位尿細管・集合管機能検査 —尿濃縮能, TTKG, フロセミド 負荷試験……………白井陽子・三浦健一郎 服部元史……………	258
3) IV型コラーゲン, ヒアルロン酸, M2BPGi ……恵谷ゆり……………	180	3. 腎動態シンチグラフィ, 腎静態シンチ グラフィ……………久富隆太郎……………	261
4) セルプラスミン, 銅……………清水教一……………	183	4. ウロダイナミクス検査……………千葉博基 堀田記世彦・篠原信雄……………	265
5) フェリチン, トランスフェリン, 血清鉄, TIBC ……川原勇太……………	186	IX. 免疫学的検査	
6) 血中アンモニア, 血漿・尿アミノ酸 分析……………松本志郎・城戸 淳 中村公俊……………	190	1. 急性期反応物質—赤血球沈降速度, CRP, プロカルシトニン, プレセプ シン, 血清アミロイド A, IL-6*, フェリチン* (*炎症マーカーとして) ……………堀 友博・大西秀典……………	270
7) 尿素窒素, 尿酸, クレアチニン ……………奥田雄介・石倉健司……………	195	2. 免疫グロブリン—IgG, IgG サブクラス, IgA, 分泌型 IgA, IgM, IgD ……………森谷邦彦・今井耕輔……………	275
8) KL-6, 肺サーファクタント蛋白 (SP-A, SP-D) ……玉井直敬……………	199	3. 血清補体価 (CH50), 補体 C3, 補体 C4 ……堀内孝彦……………	280
3. 脂質および関連物質		4. 補体制御異常の検査—H 因子, MCP (CD46), 抗 H 因子抗体, C3 腎炎 因子, C1 インヒビター ……日高義彦……………	285
1) コレステロール, トリグリセライド, リポ蛋白分画, アポリポ蛋白, リポ蛋白リパーゼ……………山本幸代……………	202	5. サイトカイン	
2) ビリルビン, 血清総胆汁酸, 尿中胆汁 酸分画……………津村直弥・水落建輝……………	208	1) Th1 サイトカイン, Th2 サイト カイン, Th17 サイトカイン, Treg サイトカイン, 上皮細胞由来サイト カイン……………山本 健・井上祐三朗……………	289
4. 糖質および関連物質		2) 生体防御 (自然免疫・炎症) に かかわる主なサイトカインと可溶性 受容体—IL-1, IL-6, IL-18, I 型 IFN, IFN- γ , TNF- α , 可溶性 TNF-R I, 可溶性 TNF-R II ……………清水正樹……………	292
1) 血糖, HbA1c, グリコアルブミン, フルクトサミン, 1,5-アンヒドロ- D-グルシトール……………田嶋朝子……………	211	6. 細胞表面マーカー—免疫疾患のスク リーニング (CD3, CD4, CD8, CD19, CD56 など) ……………友政 弾・金兼弘和……………	296
2) ガラクトース……………齋藤寧子・和田陽一……………	216		
5. 血液ガス, 有機酸およびビタミン			
1) 血液ガス, 乳酸, ビルビン酸, 血中ケトン体分画, 遊離脂肪酸 ……………松永綾子……………	219		
2) 血中アシルカルニチン分析, 尿中有機 酸分析, カルニチン分画 ……………小林弘典・松井美樹……………	225		
3) ビタミン B (B_1 ・ B_2 ・ B_6 ・ B_{12} ・葉酸・ ビオチン), ビタミン C, ビタミン A・E……………中島葉子……………	231		
6. 電解質			
1) ナトリウム, カリウム, クロール, カルシウム, リン, マグネシウム ……………加藤宏樹……………	237		
2) 微量元素—亜鉛, 銅, セレン, ヨウ素, マンガン……………前川貴伸……………	245		

7. 細胞性免疫能検査—PHA 反応, Con-A 反応, NK 細胞活性…和田泰三……………	299	2. 臓器特異的抗体	
8. HLA 検査 (血液関連・疾患関連) ……………木野佑亮・田中秀則……………	302	1) 血液疾患に関連する自己抗体 —抗好中球抗体, 抗赤血球抗体, 抗血小板抗体 (PA-IgG) …唐川修平……………	380
9. 白血球 (顆粒球) 機能試験 (殺菌能, 食食能), 白血球接着分子 ……………芦原康介・岡田 賢……………	306	2) 神経疾患に関連する自己抗体 (1) 抗 AChR 抗体, 抗 MuSK 抗体, 抗ガングリオシド抗体など ……………那須野 将・稲葉雄二……………	383
10. 家族性血球貪食性リンパ組織球症スク リーニング検査……………八角高裕……………	309	3) 神経疾患に関連する自己抗体 (2) 抗 NMDAR 抗体, 抗 AQP4 抗体, 抗 MOG 抗体, 抗 LGI1 抗体 ……………高橋幸利・矢部友奈・井口晃宏……………	387
11. TREC, KREC スクリーニングおよび 二次精査……………村松秀城……………	312	4) 甲状腺疾患に関連する自己抗体 —抗サイログロブリン抗体, 抗甲状 腺ペルオキシダーゼ抗体, 抗 TSH 受容体抗体 (刺激抗体含む) ……………南谷幹史……………	392
X. アレルギー検査		5) 膵島関連自己抗体—インスリン 自己抗体, GAD 抗体, IA-2 抗体, ZnT8 抗体 ……………鈴木潤一……………	395
1. 呼吸機能検査 (スパイロメトリー, フローボリューム曲線, 気管支拡張 薬反応検査, オシロメトリー, 肺音 解析) ……………海賢千波・平井康太……………	316	6) 腎疾患に関連する自己抗体 —抗 GBM 抗体……………小椋雅夫……………	398
2. 気道過敏性試験—運動負荷試験も含む ……………長澤功多・手塚純一郎……………	322	7) 自己免疫肝炎関連自己抗体 —抗平滑筋抗体, 抗 LKM-1 抗体, 抗ミトコンドリア抗体……………肥沼 幸……………	401
3. 気道炎症 (喀痰・鼻汁中好酸球, FeNO) ……………豊岡賢治・福家辰樹……………	326	8) 皮膚疾患に関連した自己抗体 —抗デスモグレイン 1 抗体, 抗デス モグレイン 3 抗体, 抗 BP180 抗体 ……………氏家英之……………	405
4. 総 IgE 値, 特異的 IgE 抗体価 ……………堀向健太……………	329	XII. 内分泌・代謝検査	
5. 皮膚テスト……………二村恭子……………	334	1. 下垂体機能検査	
6. アトピー性皮膚炎関連—TARC, SCCA2 ……………長尾みづほ……………	338	1) 下垂体機能低下症を疑ったときの検査 の進め方……………水野晴夫……………	410
7. ALST, DLST (抗原刺激による リンパ球増殖反応) ……………梶田直樹・吉田幸一……………	342	2) 下垂体機能亢進症を疑ったときの検査 の進め方……………内木康博……………	414
XI. 自己抗体検査		3) 血中 GH, IGF-I ……………向山祐理……………	418
1. リウマチ性疾患に関連する自己抗体		4) 黄体形成ホルモン, 卵胞刺激ホルモン, プロラクチン……………松井克之……………	421
1) 抗核抗体……………伊藤保彦……………	346	5) 抗利尿ホルモン…茂木 桜・安達昌功……………	429
2) リウマトイド因子, 抗 CCP 抗体 ……………赤峰敬治……………	350	2. 甲状腺・副甲状腺機能検査・骨代謝	
3) SLE と抗 dsDNA 抗体, 抗 Sm 抗体, 抗リボゾーム P 抗体, 抗 NR2 抗体 ……………森 雅亮……………	354	1) 甲状腺機能異常を疑ったときの検査 の進め方……………長崎啓祐……………	432
4) 若年性特発性炎症性ミオパチー, 筋炎 特異的自己抗体……………小林一郎……………	358	2) TSH, T3, T4, FT3, FT4, TBG, サイログロブリン (Tg) ……阿部清美……………	437
5) Sjögren 症候群—抗 SS-A 抗体, 抗 SS-B 抗体など ……………橋本邦生……………	362	3) 副甲状腺ホルモン, 副甲状腺ホルモン 関連蛋白, cyclic AMP,	
6) 混合性結合組織病—抗 U1-RNP 抗体, 抗 Ku 抗体 ……………金子詩子……………	366		
7) 全身性強皮症—抗 Scl-70 抗体, 抗セントロメア抗体, 抗 RNA ポリ メラーゼ III 抗体……………野澤 智……………	369		
8) 抗リン脂質抗体……………山崎雄一……………	373		
9) ANCA 関連血管炎, ANCA ……………宮前多佳子……………	376		

カルシトニン…藤原幾磨・上村美季……………	442	7) 血清抗体検査……………堀越裕歩……………	530
4) 25(OH)ビタミン D, 1,25(OH) ₂ ビタミン D, FGF23……………難波範行……………	446	8) 毒素検査……………森永芳智……………	534
5) 骨代謝マーカー……………道上敏美……………	452	9) 核酸増幅検査……………宮田一平……………	539
3. 副腎皮質機能検査		10) 質量分析法による微生物同定検査 ……………三澤成毅……………	545
1) 副腎機能異常を疑ったときの検査 の進め方……………水谷陽貴・濱島 崇……………	457	2. 各感染症の検査	
2) ACTH, コルチゾール, 17-OHP, DHEA-S……………藤澤泰子……………	461	1) 敗血症を疑ったときに必要な検査 ……………伊藤雄介……………	548
3) アルドステロン, レニン ……………宇都宮朱里・小野泰輔……………	466	2) 髄膜炎・脳炎を疑ったときに必要な 検査……………伊藤健太……………	551
4) 尿中コルチゾール, 尿中プレグナン トリオール, その他の尿ステロイド プロフィール……………天野直子……………	469	3) 感染性心内膜炎を疑ったときに必要な 検査……………清水彰彦……………	556
4. 副腎髄質機能検査		4) 気管支肺感染症, 胸膜炎・膿胸を 疑ったときに必要な検査…星野 直……………	559
1) カテコールアミン 3 分画, メタネフリン, ノルメタネフリン ……………佐藤武志・室谷浩二……………	472	5) 感染性胃腸炎を疑ったときに必要な 検査……………川村尚久……………	563
5. 性腺機能検査		6) 肝炎を疑ったときに必要な検査 ……………乾 あやの・藤澤知雄……………	567
1) 性腺機能異常を疑ったときの検査 の進め方……………田中由美・鹿島田健一……………	476	7) 骨関節感染症を疑ったときに必要な 検査……………村井健美……………	572
2) エストラジオール, プロゲステロン, 抗ミューラー管ホルモン ……………橘 真紀子・三善陽子……………	482	8) 尿路感染症を疑ったときに必要な 検査……………古市美穂子……………	577
3) テストステロン, ジヒドロテスト ステロン……………森川俊太郎……………	488	9) 先天性感染症を疑ったときに必要な 検査……………森岡一朗……………	581
6. 膵機能検査		10) 輸入感染症を疑ったときに必要な 検査……………山元 佳……………	586
1) 糖尿病や低血糖を疑ったときの検査 の進め方……………望月美恵……………	492	3. 細菌感染症	
2) インスリン, C ペプチド, グルカゴン ……………鈴木 滋……………	497	1) A 群レンサ球菌抗原検査……………桜井博毅……………	593
7. ナトリウム利尿ペプチドー心房性ナト リウム利尿ペプチド, 脳性ナトリウ ム利尿ペプチド, NT-proBNP ……………浦島 崇……………	501	2) 百日咳感染症……………中村幸嗣……………	596
XIII. 感染症検査		3) 結核・非結核性抗酸菌感染症 ……………徳永 修……………	599
1. 総 論		4) ヘリコバクター・ピロリ感染症 ……………垣内俊彦……………	604
1) Gram 染色……………山本 剛……………	504	5) バルトネラ感染症 (ネコひっかき病) ……………沼崎 啓……………	609
2) 細菌検査—有意義な検体の採取・ 保存・輸送……………上原由紀……………	510	6) 肺炎マイコプラズマ・肺炎クラミ ドフィラ感染症……………大石智洋……………	611
3) 細菌培養検査—同定結果および薬剤 感受性結果の解釈について ……………庄司健介……………	514	7) レジオネラ感染症……………中野沙季……………	614
4) 真菌培養検査……………田代将人・泉川公一……………	518	4. ウイルス感染症	
5) ウイルス分離・同定検査 ……………吉川哲史……………	522	1) 麻疹・風疹・ムンプス・水痘 —主に抗体検査について…多屋馨子……………	617
6) 迅速抗原検査……………新庄正宜……………	525	2) ヘルペスウイルス感染症 ……………鈴木高子・木村 宏……………	620
		3) インフルエンザウイルス感染症 ……………佐藤晶論……………	625
		4) 新型コロナウイルス感染症…船木孝則……………	630
		5) RS ウイルス・ヒトメタニューモ	

ウイルス感染症……………平川賢史……………	635	解析, 全ゲノム解析……………要 匡……………	697
6) パルボウイルス感染症……………要藤裕孝……………	638	2. 各論 (遺伝子一覧表)	
7) ヒト免疫不全ウイルス感染症 ……………田中瑞恵……………	641	1) 神経・筋疾患……………池田 (谷口) 真理子……………	701
5. 真菌・リッチケア		2) 循環器疾患……………廣野恵……………	722
1) 真菌感染症 (主にカンジダ感染症 について) ……………菱木はるか……………	645	3) 先天性代謝異常症……………市野井那津子……………	731
2) 真菌感染症 (ニューモシスチス・ イロベチ感染症) ……………照屋勝治……………	650	4) 内分泌疾患……………鳴海覚志……………	736
3) リケッチア症 (日本紅斑熱, ツツガムシ病) ……………高田伸弘……………	653	5) 血液・腫瘍疾患……………加藤元博……………	738
XIV. 腫瘍マーカー		6) 原発性免疫不全症……………磯田健志……………	741
1. 小児悪性腫瘍の腫瘍マーカー ……………佐野秀樹……………	658	7) 消化器疾患……………中野 聡……………	748
XV. 染色体・遺伝子検査		8) 遺伝性腎疾患……………森貞直哉・野津寛大……………	760
1. 総 論		9) 先天異常症候群……………黒田友紀子……………	774
1) 染色体・遺伝子検査の倫理……………掛江直子……………	664	XVI. 薬物血中濃度モニタリング	
2) 指定難病の確定診断のための遺伝学的 検査……………岡崎哲也・足立香織 難波栄二……………	670	1. TDM の実際 ……………辻 泰弘・長野伸彦……………	780
3) 染色体 G バンド分染法……………大橋博文……………	674	2. 抗てんかん薬……………丸山あずさ……………	787
4) 染色体 FISH 法 ……………原田直樹……………	677	3. 免疫抑制薬—シクロスポリン, タクロリムス, ミコフェノール酸 モフェチル, エペロリムス ……………山田剛史……………	792
5) マイクロアレイ染色体検査……………黒澤健司……………	682	4. バンコマイシン, テイコブラニン, アミノ配糖体……………大宜見 力……………	796
6) MLPA 法 ……………大場大樹……………	686	5. 抗不整脈薬……………坂口平馬……………	800
7) サンガーシーケンス……………新井田 要……………	692	6. ワルファリン……………神山 浩……………	804
8) 次世代シーケンサー—エクソーム		7. メトトレキサート……………稲毛康司……………	807
		Key Words Index ……………	810